

駅伝競走

運動の一つに走るというものがあります。皆さんは、短距離走が好きですか。それとも長距離走が好きですか。

9月5日（火）に「第66回福島県中学校体育大会駅伝競走県北地区予選会」が開かれました。野田中学校からも男子駅伝チームと女子駅伝チームが参加しました。駅伝は長い距離を走ります。お正月の箱根駅伝などにより、広く知られた競技となっています。

今年の夏は、今まで以上に暑い夏でした。駅伝チームの皆さんは、夏休み中の朝早くから練習を積んできました。駅伝すなわち長距離走は、他の競技にもまして、体力を消耗（しょうもう）します。心技体の心がしっかりしていないと続けられるものではありません。

大会当日の朝、駅伝チームは、あいさつをしてバスに乗り、会場に向かいました。様子を見てみると、男子も女子も雰囲気がいいのです。まとまりもあります。整列も素早いし、バスの運転手さんにあいさつをして、バスに乗り込む際も、テキパキとしていてスムーズです。なぜなのでしょう。

駅伝チームのメンバーは、もともとは他の運動部での活動が主のはずです。普段の部活動で身につけたことが、駅伝チームでも活かされているのかもしれませんが。駅伝チームとしての活動期間は、長くはありません。暑く厳しい夏を、お互いに励まし合いながら、長い距離を走るという苦しいことに挑戦してきた仲間たちだからこそ、まとまりが生まれ、行動もすばらしくなるのかもしれませんが。

駅伝大会では、相手チームがいてタイムにより順位も出ます。しかし、大事なことは、自分との戦いではないでしょうか。どこまでがんばれるかは、自分の気持ち次第でしょう。その気持ちを奮（ふる）い立たせてくれるのが、一緒にがんばってきた駅伝チームのメンバーであり、応援してくれる人たち、指導してくれた先生方です。駅伝を走る選手たちは、自分を含めいろいろな人の思いを背負って走っているのです。そして、次の走者にたすきをつなぐのです。

駅伝チームの皆さんは、今までの練習、そして大会を通して、なかなかできない経験をしてきました。この経験は、きっとこれからの人生に役立つはずです。つらく苦しいことに挑（いど）んだ人は強くなれます。

駅伝などの長距離走は、走っているときはつらいかもしれませんが、ゴールした後の達成感や充実感、がんばったと思える自分を認める気持ちなどが何ともいえないのではないのでしょうか。

運動の中でも、走ることは最も基本的なことであり、お金もかからず、特別な道具も必要なく、いくつになっても、いつでもできるものです。駅伝チームの皆さんの活躍から多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。